

がん看護専門看護師養成プログラム

領域	授業科目及び担当教員		授 業 科 目 概 要
専攻分野共通科目	がん病態生理・治療学	教授 薬師神 芳洋	代表的ながんの病態生理，診断および手術療法・薬物療法・放射線療法の基本的知識を含めた治療や最近の動向を理解し，それらを基盤とした高度実践看護について考察する。
	がん看護学特論Ⅰ	教授 二井谷 真由美	がん看護を実践する上で，基盤となる主要な理論や概念，エビデンスのある看護介入方法について学び，がん患者とその家族を全人的に捉え，効果的な支援を実践するための方略を探究すると共に，がん医療における専門看護師の実践および研究への適用について検討する。
	がん看護学特論Ⅱ	教授 二井谷 真由美	専門看護師が，がん患者・家族が抱える複雑な問題をどのようにアセスメントし，看護理論や概念，看護介入モデルを用いて，患者・家族の状況に適した包括的ケアを実践しているのかを学び，がん患者・家族に適した質の高いケアの提供について専門看護師のチェンジエージェントとしての視点も含めて理解する。
専攻分野専門科目	がんリハビリテーション看護学特論	教授 二井谷 真由美	がんやがん治療によってもたらされた身体の器質的・機能的変化に対して，多職種で構成されるチームが連携して身体・心理・社会的問題に働きかけることにより機能を改善する方法やセルフケア能力向上のための方略について学ぶ。
	がんリハビリテーション看護学演習	教授 二井谷 真由美	がんやがん治療によってもたらされた身体の器質的・機能的変化を改善する方法やセルフケア能力向上のための方略について演習を通して具体的に学び，QOL向上につながるエビデンスのある効果的な支援計画を立案することにより，リハビリテーションを必要とするがん患者とその家族に対する高度看護実践について探究する。
	がん緩和ケア看護学特論	教授 二井谷 真由美 講師 吉田 美由紀 助教 竹井 友理	緩和ケアの概念，歴史，システムを理解し，がんがもたらすあらゆる苦痛症状および苦悩を包括的に理解し，エビデンスに基づいて適切なキュアとケアを統合して支援する方法として，薬物療法だけでなく，心理的支援，社会資源などを含めた包括的な介入を展開する方法を学ぶ。さらに End of Life Care や家族のグリーンワークについて学ぶ。
	がん緩和ケア看護学演習	教授 二井谷 真由美 講師 吉田 美由紀 助教 竹井 友理	がんがもたらす苦痛症状および苦悩とそのアセスメント法，臨床判断に基づいた支援方法とその評価について学び，事例患者に対しキュアとケアを統合した支援計画を立案する。また，地域における緩和ケアの質向上に貢献するために，ケアの担い手である看護師や介護者にとって効果的な教育計画立案を通じ，緩和ケア普及のための方略を探索する。
実習科目	がん看護学実践実習Ⅰ	教授 二井谷 真由美 助教 竹井 友理	がん看護の領域で，学生が焦点をあてる領域（サブスペシャリティ）を選択し，治療を受ける患者を複数名受け持ち，臨床指導医とともにがん治療期の患者のヘルスアセスメントを実施し，診断や治療の理解，身体状況のアセスメント，疾患や治療に伴う身体管理，効果的なケアを提供するための臨床判断能力を養う。また，がん患者と家族の抱える様々な課題を全人的にとらえ，苦痛の緩和，日常性の回復や適応を促進するために，看護モデルを活用し，包括的なアセスメントに基づいた看護を展開する能力を養う。
	がん看護学実践実習Ⅱ	教授 二井谷 真由美 講師 吉田 美由紀	在宅において，訪問看護を受ける複雑な問題をもつがん患者を受け持ち，訪問看護師と臨床指導医の指導を受けながら，長期的な支援の観点にたった臨床判断能力，患者と家族にとって意味のある意思決定支援やACPの実践を行い，地域連携を含めた高度な看護実践能力を養うとともに，在宅医療の実践について学ぶ。
	がん看護学実践実習Ⅲ	教授 二井谷 真由美	がん看護専門看護師の実際の活動を通じ，がん看護専門看護師の役割（実践，相談，調整，倫理調整，教育，研究）を学び，活動戦略および役割開発など，今後の展望について考察する。

領域	授業科目及び担当教員		授 業 科 目 概 要
実 習 科 目	がん看護学 実践実習Ⅳ	教授 二井谷 真由美	様々な場（拠点病院・緩和ケア病棟・在宅等）で療養する終末期がん患者とその家族を対象に、終末期がん患者の身体管理方法、症状マネジメントに必要な臨床判断能力を習得する。また、臨床指導医や専門看護師の指導の下、患者と家族のQOLを維持向上するためのケアとケアを融合した直接的なケア、意思決定支援や倫理調整を実践し、卓越した包括的ケアを遂行する能力を養う。
	がん看護学 実践実習Ⅴ	教授 二井谷 真由美	学生が選択した実習場所（がん診療連携拠点病院や訪問看護ステーション等）において、これまでの実習ⅠからⅣを踏まえ、現場でのがん看護の課題を見出し、対象（患者・家族・スタッフ・病棟・チーム・組織・地域）のニーズに応じた解決策を提案、実践することにより、総合的ながん看護専門看護師の役割遂行能力を養う。
	課題研究	教授 二井谷 真由美	がん看護を実践する中で生じた疑問や課題について研究テーマを設定し、先行研究の収集と批判的検討、研究方法を吟味して研究計画書を作成する。作成した研究計画書に則って研究を実施することにより、専門看護師として実践上の課題を解決するための研究能力を養う。
共 通 科 目 A	看護研究方法論 看護倫理 看護理論 看護教育論 看護管理論 コンサルテーション論 看護政策論		共通授業科目参照
共 通 科 目 B	臨床薬理学 フィジカルアセスメント 病態生理学		共通授業科目参照

共通授業科目

領域	授業科目及び担当教員		授 業 科 目 概 要
共 通 科 目	看護教育論	教授 陶山 啓子	看護教育制度の変遷や現状の課題及び生涯にわたって主体的に専門性を高めていける看護職育成のために必要な理論と方法を学修する。学修援助型の教育における教育者のあり方について、自らが経験した場面を活用して検討する。さらに、基礎教育、卒後・継続教育、患者教育における教育プログラムの作成をとおして、看護職が教育的機能を果たすために必要な基本的知識・技術を修得する。
	看護管理論	教授 西嶋真理子 非常勤講師 青山ヒフミ 松浦 正子	現在の医療制度などの外部環境を踏まえながら、看護管理のプロセスとしてのインプット（人、物、資金、情報、時間）、プロセス、アウトプット（看護成果、患者満足、職務満足、質改善、エンパワメント）について分析、探究する方法を学修する。そのために必要な思考を組織論、マネジメント理論、人的資源活用論、リーダーシップ理論などに関する文献学修をとおして養う。
	看護理論	教授 永田 明	卓越した看護実践の基盤となる看護の諸理論について理解を深めるために必要な知識を教授する。講義では看護実践または研究に影響を及ぼしてきた思想と理論の歴史的変遷を理解し、その存在論的、認識論的、方法論的前提を分析する。またそれらの実践事例への適用を試み、その批判的検討を通じて、臨床看護の実践、理論、研究の基礎となる看護の理論的基盤を模索する。
	看護研究 方法論	教授 薬師神裕子 山内 栄子 相原ひろみ 宮内 清子	看護活動を効果的に展開するためには、研究的視点を持ち、看護の実践知を論理的・体系的に捉え、看護実践の改善に役立てていくことが必要となる。本科目では、看護における研究の意義を理解し、看護研究のプロセスを理解する。また、看護研究に必要な研究方法、研究デザイン、研究倫理について学び、研究計画書を作成する基礎的知識を修得する。

領域	授業科目及び担当教員		授 業 科 目 概 要
共通科目	看護研究 演習	教授 山内 栄子 講師 城賀本晶子	看護研究における研究デザインや前提となる条件, 科学的推論方法について学び, 信頼性・妥当性の検証, データの活用方法を具体的かつ実践的に探求する。
	コンサルテーション論	講師 吉田美由紀 非常勤講師 添田百合子	コンサルテーションの意義や方法等について受講生の経験を踏まえ, プレゼンテーションや討議をとおして学修する。さらに, コンサルテーション活動を行うために必要な医療専門職, 保健や福祉領域の専門職に対して相談し, 調整できる基礎的な実践力を修得する。
	看護倫理	教授 相原ひろみ	倫理調整を実践する能力を獲得するために, その基盤となる倫理学に関する知識と倫理的問題を分析し, 解決に導く方法論を修得する。授業では, 倫理学, 生命倫理学, 看護倫理学の歴史の変遷や基本概念と倫理的意思決定支援に関する方法論を学ぶ。そして, 看護実践で直面する倫理問題を解決するために必要な分析方法, 倫理的なアプローチの方法, 他の職種との倫理的調整の方法を探求する。
	看護政策論	教授 西嶋真理子 藤村 一美	人々のニーズに寄り添い, QOLを高める保健・医療・看護を実現するために, 看護の質の向上を政策的に推し進めていくための仕組みや看護政策の機能を理解する。看護の歴史的展開過程を踏まえ, 将来を展望し, 現行の法制度における課題を分析する視点を持ち, 演習をとおして課題解決や健康政策策定のための基礎的能力を修得する。
	地域包括 ケア基礎論	教授 陶山 啓子 西嶋真理子 薬師神裕子 二井谷真由美 宮内 清子 講師 小岡亜希子 柴 珠実 吉田美由紀	講義や文献検討を通して地域包括ケアの概念や発達段階各期, 公衆衛生領域における地域包括ケアの必要性について学修する。また, フィールドワークやディスカッションを通して, 地域医療における現状と課題について検討する。
	統計学	教授 藤村 一美 非常勤講師 矢田 浩紀	根拠にもとづく医療・看護・保健活動, 及び看護研究(量的研究)において, 必要な統計学やデータ処理の考え方, 統計手法について教授する。統計ソフトSPSSを活用し, 実際に統計解析への理解を深め, 研究デザインやデータの特性に適した統計手法の選び方について学修する。
	臨床薬理学	教授 谷向 知 非常勤講師 重松 裕二 八杉 巧	薬理学の基本的な知識を元に, 使用されている薬剤の特徴, 作用様式, 副作用などを理解する。さらに実際に薬物療法を受けている患者のモニタリング, 症状管理, 服薬管理, 服薬指導について具体的に学び, 看護実践に活かす能力を高める。
	フィジカル アセスメント	教授 二井谷真由美 非常勤講師 重松 裕二	看護実践に直結する対象からの看護情報を的確に収集し, アセスメントするための知識や技術を学ぶ。
	病態生理学	教授 二井谷真由美 谷向 知 非常勤講師 重松 裕二 八杉 巧	主要な症候の起こるメカニズムを理解し, 主な疾患と症状との関連, 使用している薬剤との関連について理解を深め, エビデンスに基づいたアセスメントができる能力を養う。
	インクルーシブ社会 実現に向けて	教育・学生支援機構 講師 上月 翔太	社会・組織における個人の多様性とは何かを学習し, 多様性があることの意義, 個人の多様性をめぐる課題についても学ぶ。
教授法入門	教育・学生支援機構 講師 上月 翔太 教育・学生支援機構 教授 中井 俊樹 カモト・ジュリア・ミカ	大学院生やポストドクターが自らの専門分野の学識を他者に適切に教授するために必要な知識, 技術, 態度について学習する。	